

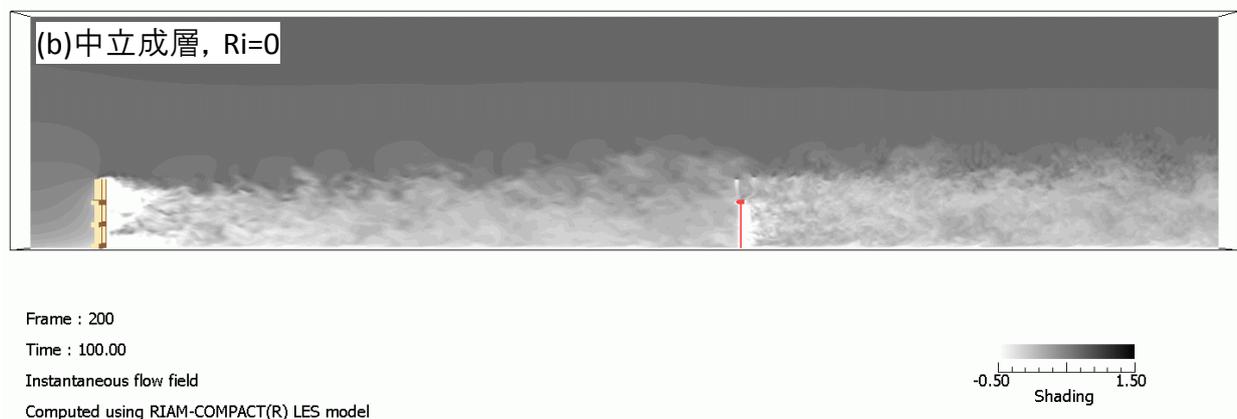
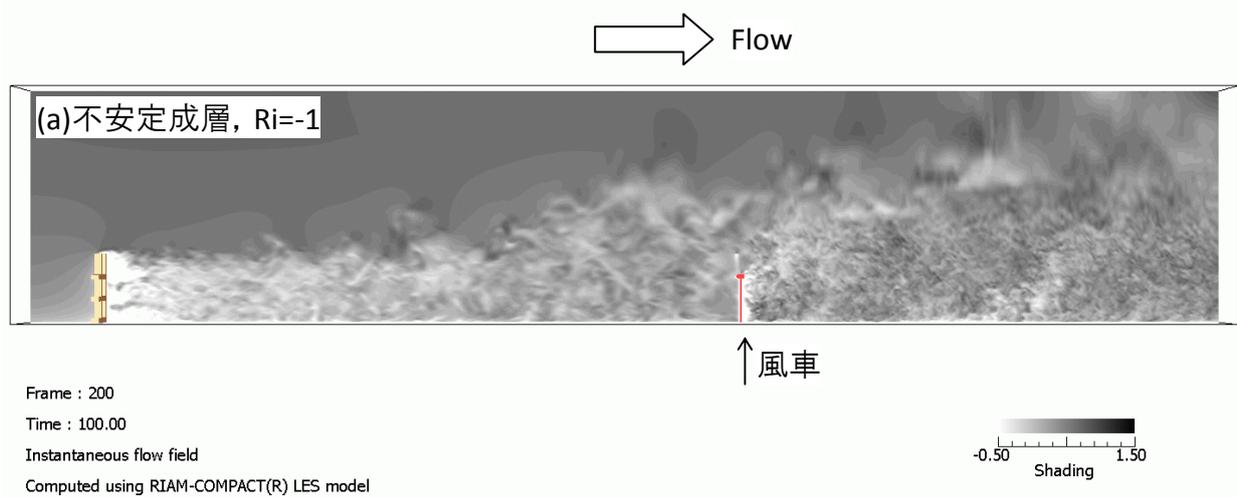
種々の大気安定度を考慮した 風車および小規模地形周辺流の数値シミュレーション

【リチャードソン数】

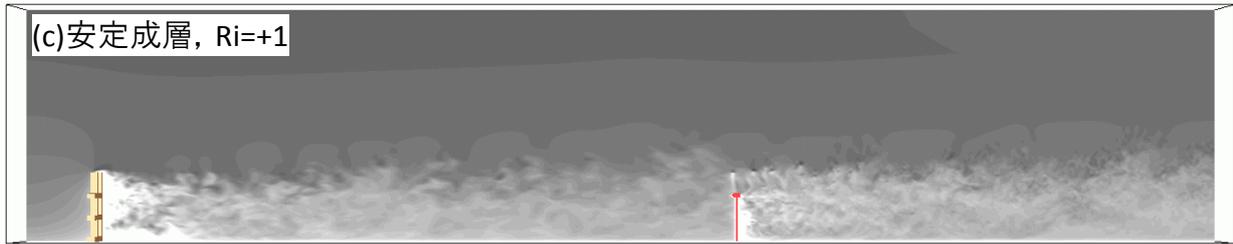
$$Ri = \frac{g \Delta\theta h}{\theta_{in} U^2} \quad \dots \text{定義式}$$

ここで, $\Delta\theta = \theta_{in} - \theta_{bottom}$, h は代表高さ(風車場合はハブ高さ, 地形の場合は最大高さ), U は流入境界面の代表高さ位置における風速, g は重力加速度である.

ケーススタディ: 風車ウエイクの場合



スパン中央断面における主流方向速度成分の分布図, 瞬間場



Frame : 200

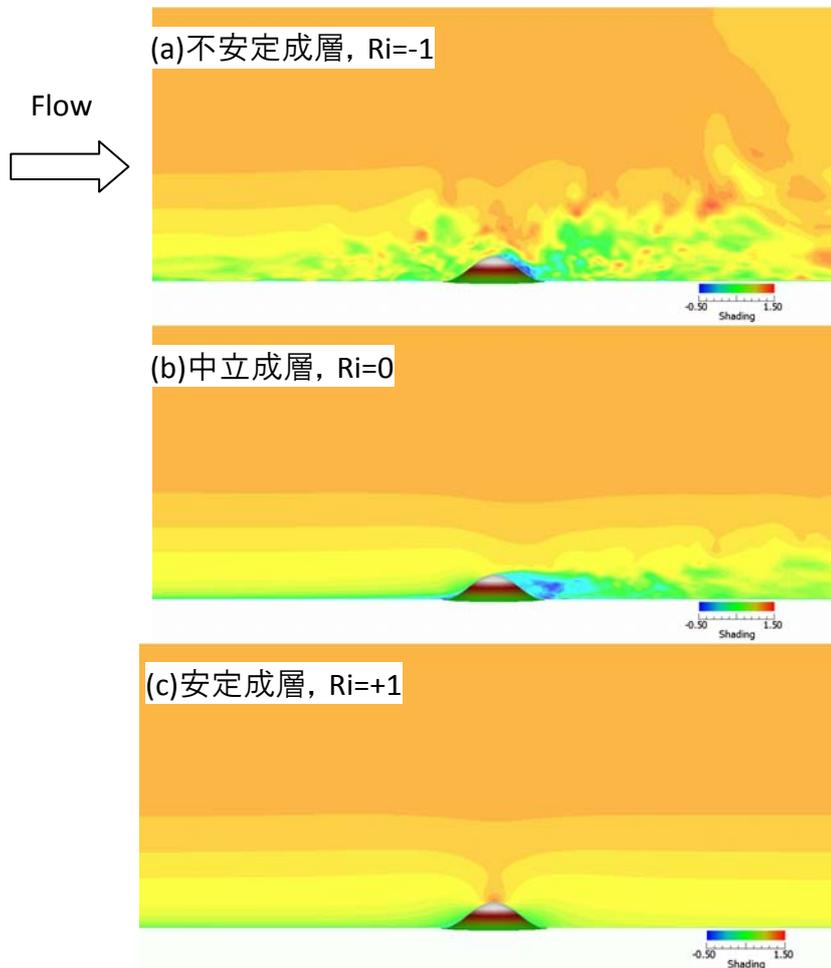
Time : 100.00

Instantaneous flow field

Computed using RIAM-COMPACT(R) LES model



ケーススタディ: 孤立地形の場合



問い合わせ先

内田 孝紀 (Takanori UCHIDA)

九州大学応用力学研究所 准教授 (株式会社リアムコンパクト 取締役兼務)

Tel : 092-583-7776

Mail : takanori@riam.kyushu-u.ac.jp

 URL : <http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/windeng/>

 URL : <http://www.riam-compact.com/>

スパン中央断面における
主流方向速度成分の分布図, 瞬間場